

新しい土砂災害ハザードマップを ご活用ください

今年5月に各世帯に配布した新しい『土砂災害ハザードマップ』をぜひご活用ください。

『土砂災害ハザードマップ』は、土砂災害やがけ崩れなどによる被害が想定される地域や避難所・避難場所などを地図上に表したものです。普段から関係のあるページを御自宅や職場に貼り、土石流及びがけ崩れの土砂災害警戒区域や避難経路などの確認をしておきましょう。

町のハザードマップは地域別に2種類作成しており、「湯本・畑宿・元箱根・温泉地域版」と

「宮城野・仙石原・箱根地域版」に分かれています。総務防災課及び各出張所、町のホームページでも確認できます。詳しくは総務防災課防災対策室（☎85-9562）にお問い合わせください。



→宮城野・仙石原・箱根地域版
←湯本・畑宿・元箱根・温泉地域版



町メールマガジンの登録と活用

町のメールマガジンにあらかじめ登録することにより、携帯電話やスマートフォンへメールにより防災情報などの様々な情報が配信されます。

【配信情報（防災関係）】

- 気象警報、土砂災害警戒情報、避難所に関する防災情報
 - 交通機関の運行状況や道路の通行止め等に関する放送した防災情報
- 迅速な避難行動に活用しましょう。

メールマガジン登録方法

バーコードリーダー機能付き携帯電話・スマートフォンの方は下記QRコードから登録してください。



それ以外の方、またはパソコンはこちらのメールマガジン登録フォームのURLから登録してください。

<https://reg23.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=sb-rar-986b3ecd840fd741e3b47a60f65bc15>

- ① メールマガジン登録フォームで、配信を希望するメールマガジンの種類を選択し、Eメールアドレスを入力します
- ② 登録が完了すると、確認のEメールが届きます
- ③ メールマガジンの配信が開始されます

災害に備えましょう



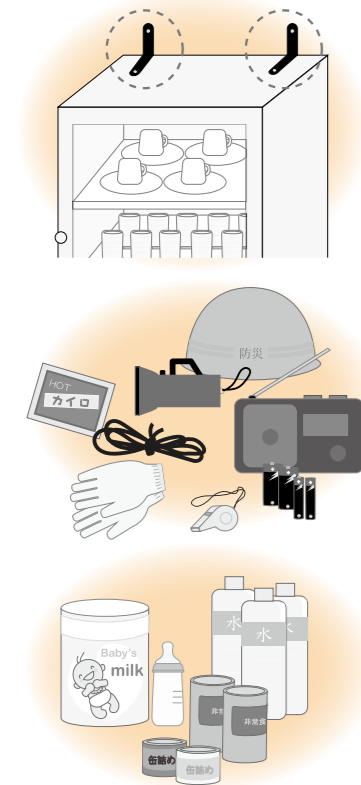
災害はいつ・どこで発生するかわかりません。

もし、災害が起きてしまったために、町では神奈川県が発表している県西部地震における被害想定に基づき、避難住民及び帰宅困難者等の人数を勘案した、3日分の食料となる約2万食の備蓄を行なっています。

しかし、被害を最小限にとどめるためには住民の皆さんの日々の備えが大切です。

各家庭で倒れそうな家具の転倒防止器具の取り付け、3日（できれば7日以上）の飲食物や携帯トイレなどの備蓄を進めていきましょう。

個人や家庭の事情にあわせ、紙おむつや離乳食・持病薬なども備えておく必要があります。



箱根町の備蓄食料・水

地域	アルファ米 レトルト米	フリーズドライ ビスケット	保存水（1本2ℓ）	
湯本地域	3,050食	1,632食	600本	(1,200ℓ)
温泉地域	1,450食	624食	450本	(900ℓ)
宮城野地域	4,100食	1,560食	750本	(1,500ℓ)
仙石原地域	3,500食	1,776食	1,100本	(2,200ℓ)
箱根地域	1,600食	720食	400本	(800ℓ)
合計	13,700食	6,312食	3,300本	(6,600ℓ)

※備蓄場所は各避難所や地域の備蓄倉庫などに分散してあります。自分の地域のどこに備蓄されているかを知りたい方は総務防災課防災対策室（☎85-9562）にご連絡ください。
※町では、食料・水の他に、粉ミルク・医薬品・トイレットペーパー・おむつ・カセットガスコンロ・乾電池・燃料（ガソリン・混合ガソリン）などを備蓄しています。

明日からできる備蓄法 『ローリングストック法』

明日から簡単にできる備蓄法、『ローリングストック法』について紹介します。

『ローリングストック法』とは、備蓄している食料を普段の食事を使いながら、消費した分を買い足す方法です。

日ごろから食べて、買い足すことで、短い期間で新しいものに入れ替わります。3年・5年といった長期間保存しなくてもいいのが、ローリングストック法の特徴です。

